

音たまり新聞



2003年
9月号

こんにちは 私は8月から約2ヶ月間、南大東島に来ていた大学生の岩田茉莉江（まりも）です。私は大東に来て大東の音にひかれました。『静かなので音がすーっと耳に入ってくる！内地ではかきけされている音、大東でしか聞けない珍しい音、自然の音、動物や虫の音、人工的な音、人間の声などいろんな音が生きている！』と感じました。そこで、島にずっと住んでいる人に私が知らない大東の音、島の人が日頃感じる音などを教えてもらいたいと思い、大東の音について島まるごと館の子供スタッフとインタビューをしました。音は空気のように当たり前だから改めて聞かれると答えるのが難しいという人もいました。確かに、私がはっと『新鮮だな。いいな。』と思った音でも、島の人にとってはふつうの音だったりするのですよね。逆に私の聞いたことのない音のエピソードを知っていたりと、いろいろお話を聞くことができました。本当は島の人全員に聞きたかったのですが、残念ながら無理でした。突然インタビューにも関わらず、快く答えてお話してくださったみなさんにもとても感謝しています。ありがとうございました☆

子供達と考えたインタビューの質問

- Q1. 大東の音といったら何を思い描きますか？
- Q2. 大東の好きな音は何ですか？
- Q3. 大東の嫌いな音は何ですか？
- Q4. 大東のおすすめの音は何ですか？
- Q5. 大東のなくなってほしくない音は何ですか？
- Q6. 大東の今は聞けなくなってしまったなつかしの音は何ですか？
- Q7. みんなに聞いてもらいたい自慢の音は何ですか？
- Q8. 秘密の音は何ですか？・・・などなど

大東の音といえば！大東のすきな音！

[ダイトウオオコウモリ ダイトウコノハズク、スズメ、メジロ、ウグイス、ピーサー、コオロギ 犬] の鳴き声

[木の葉、 サトウキビ] が風に揺れる音
波の音、 魚が釣れる音

自分が海に飛び込むときの音『バシャーン』

海の石の音『ジャリジャリ』

地底湖の雫が落ちる音『ポチヨーン』

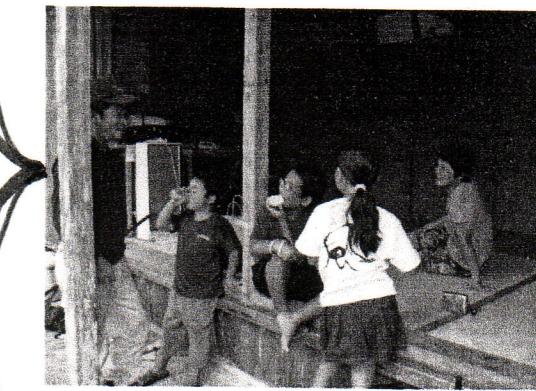
サトウキビを切る音 雨の音

ビロウの木を切る音『バッサバッサ』

風車の音 水門に海水が流れこむ音

大東太鼓の音、祭り太鼓の音、三味線の音、

子供の声 風鈴の音 飛行機の音



→ 雨が降ってきたのでトタン屋根の知念トモ子さんのうちへ！
雨の音を録ると空

はすぐに青色に変わり、インタビュースタート☆

『ごめんなさい』って謝りたくなる音

『大東の嫌いな音は？』という質問で丸憲の方が答えてくれた音は、車でカエルを踏んだ時になる音でした。私は大東に来て道路にたくさんカエルがいるのにびっくりしました。これだけカエルがいる道も珍しいです。私もついに車でカエルを踏んでしまった時、鈍い音がしたので『あーこの音かあ』とそして『すまない…』という気持ちになりました。

大東のなつかしの音



今は聞けなくなってしまった音で、私が聞いてみたいと思ったのは製糖期間中に工場の蒸気を使って汽笛で時報通知していたという音です。今は音楽が流れますけど、その頃は『ボーッ』という音だったと、金川雅之さんが話してくれました。また、多くの人がなつかしい音として答えた製糖期に走っていた汽車の音も聞いてみたいと思いました。

わった一の家ではこんな音が!!



●カエルが家の戸をノックする音
夜になると當真嗣雄さんのビロウの木で建てたお家の戸をカエルがピョンピョンとんでノックするそうです。かわいい夜のお客さん、きっとノックの音もかわいらしいのでしょうか。

●家の中にコオロギがピヨーンピヨンツ

自然の中にいるように感じた開放的な幸地末子さんのお家にはコオロギが家の中に入ってきて鳴くそうです。それを聞いた子供が『かわいい』と!家中で虫の音が聞こえるなんて本当にすてきなおうちでいいなと思います。

インタビューで出た音を実際に録りに行きました。MDとマイクを持ち、子供達と5分間口をつむってとったのですが、5分はけっこう長い時間で、物音一つ立てずに静かにしておくのはとても難しかったです。ふとしゃべってしまったり、笑い出したり、四苦八苦しながらとり続けました。耳をすませてその音に集中している子供達から出る一言一言が新鮮で、表情も豊かで、私も嬉しくなりました。

発見! 風の音

○大東では風の音もよく聞こえました。台風の時なんかはちょっとこわいくらいです。今まで私も意識してなかったので気付かませんでしたが、風の音はいろんなものに変身するのですね。サトウキビと作り出す音、ビロウと作り出す音、木の種類によって音が全然違います。同じサトウキビ畑でも強い風、弱い風、風の強さによっても音が違います。一口に風といっても、いろんな風の音があることを忘れてはならないと思いました。



しにすごい音!!

新しいゴーゴー

池田政信さんに仲松ゴーゴーの音がいいという話を聞き、子供達と早速行ってみると、波が穴にぶつかって『ゴーッ』となる音と、潮が『プシユーッ』とふきあげる音

が聞こえました。子供達は『しにすごい!』の連発でした。後でわかったのですが、仲松

ゴーゴーはコンクリートにふさがれて聞けないということでした。私達が行ったのはその隣の新しいゴーゴーなのでした。それにしても、大東ならではの地形によって作り出される海のダイナミックな音でした。

大東に川が? ! 滝が? !



塩屋海岸の右の方にいくと、子供が『滝ができるー!』と叫びました。『岩場の上に滝? !』と思い、行ってみるとそこには小さな川と岩の絶壁には海へ落ちていく小さな滝がありました。

『冷たくて気持ちいい!』子供達は川遊びに夢中。水はきれいな透明でアーサーがたくさんありました。この水はどこから流れているのかと思い、上方にいくとオレンジ色のパイプが見えました。正体は淡水処理施設から出ている海水だったのです。まるで川のせせらぎの音、でもバックには波の音。川と海の音を同時に聞けるなんてなかなかできないですね。

* * *いろいろお話を聞かせて下さった皆さん、音録りに協力して下さった皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの協力があって私の活動に花が咲きました。でも大東にはまだまだ録りたい音がたくさんあるので、また録りに来たいです。そして思いをのせて録りためたものをいつか皆さんがまるごと館で聞けるようにしたいです。そして、大東にはこんなに音があること忘れないで、生の音が消えないように、宝物として守っていってほしいです。録った音も生の音も私にとっての宝物もあります。この島に出逢えて本当によかったです。ニーヘーデービタン** * *もし大東で『この音いいなー』『新発見した音』『聞かなくなってきた音』など、その他『お気に入りの匂い』、『おすすめの場所』何でも感じたこと思ったことを自由にまるごと館に置いてある[音ノート]に書き込んでくれたら嬉しいです!

岩田 茉莉江(京都女子大学現代社会学部3回生)

○自然と子供が好きで環境教育、町づくりについて勉強していく、大東にテーマを見つけにきました。

